

## 宗内寺院紹介 72

埼玉教区第三部

## 萬靈山法護院 延命寺



①本堂 ②山門 ③本堂堂内 ④奥庭 ⑤本尊 延命地藏 ⑥内仏天井画

寺伝によれば、延命寺は、延命地藏を泰安し南北朝時代の延文年間（一三五六年）に元二遍公和尚の創建に始まり六六〇有余年の歴史を刻み今日に至っている。元は興学寺と称したが、寛永年間に慈眼大師天海僧正が喜多院の住職になるに及んで天海僧正より寺号を賜り延命寺と改めたと伝えられている。山号を萬靈山・院号を法護院と称す。往時の大伽藍は延文年間と明和年間の火災で焼失し、その後の堂塔は約二百数十年もの風雪に耐えてきたが、平成二年、先代住職の発案により檀信徒の協力を得て、本堂、檀信徒会館・庫裡の大改築が進められ平成五年完成をみた。境内には、山門・鐘楼堂・十三仏・観音立像が存立されており、本堂内には本尊である延命地藏のほか大日如来・不動明王・阿弥陀如来・如意輪観音が安置されている。

埼玉教区第三部  
萬靈山法護院 延命寺

住 所／〒350-1175 川越市大字笠幡4451  
電話番号／049-232-8200